

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2016. 2. 8

下水道機構の『新技術情報』 第222号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

2/6(土)に開催された下水道職員健康駅伝大会！当機構は、今年も6チームがエントリーし健康増進と職員の親睦を深めることができました。ちなみに機構チームの最高順位は382チーム中79位と大健闘しました！参加者の皆様お疲れ様でした！

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第222号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

・【再掲】2/12(金)の『技術サロン』は『下水道機構の審査証明事業の紹介と新たな取り組みについて』をテーマに、当機構 技術評価部長兼企画部長 渡邊 聡を講師として開催します！

■機構の動き

・今週は、2/10(水)に下水道新技術セミナー@福岡を、2/12(金)に技術サロンを開催します

■Tea Break

・第30回下水道職員健康駅伝大会（研究第一部 Y.Hさんからの投稿です）

■まる子のゆいまーる♪

・今日のゆいまーるは、お休みです m()m

■国からの情報

・2/5付下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション（最新の話です）

。○。○。

●【再掲】2/12(金)の『技術サロン』は『下水道機構の審査証明事業の紹介と新たな取り組みについて』をテーマに、当機構 技術評価部長兼企画部長 渡邊 聡を講師

として開催します！

下水道機構では下水道技術の審査証明事業を平成5年から26年度までに283の新しい技術について行い、開発者である民間企業やユーザーである地方公共団体に活用されてきました。

しかし、審査証明事業の活用については、その内容を理解することが大切です。そこで、今回のサロンでは審査証明事業をわかりやすくご紹介するとともに、機構で行っている共同研究との連携、また平成27年度から新たな取り組みとして開始した「基準達成型審査証明」についてその概要をご説明します。

平成28年2月12日(金) 17:00~18:00

行 事：第345回技術サロン

場 所：機構8階 中会議室

ゲスト：(公財)日本下水道新技術機構 技術評価部長兼企画部長 渡邊 聡

テーマ：『下水道機構の審査証明事業の紹介と新たな取り組みについて』

※お申し込みはこちら

⇒ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○○。

機構の動き (機構の行事予定です)

。○○。

●日 時：平成28年2月10日(水) 13:00~16:45 (受付12:30~)

行 事：第63回下水道新技術セミナー【福岡会場】

場 所：福岡市博多区 A.R.Kビル

テーマ：「下水道事業におけるアセットマネジメントと新たな事業計画について(仮)」

※お申し込みは締め切りました

●平成28年2月12日(金) 17:00~18:00

行 事：第345回技術サロン

場 所：機構8階 中会議室

ゲスト：(公財)日本下水道新技術機構 技術評価部長兼企画部長 渡邊 聡

テーマ：『平成28年度下水道事業予算案について』

※お申し込みはこちら

⇒ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

○日 時：平成27年2月17日(水) 13:00~16:45 (受付12:30~)

行 事：第21回下水道新技術研究発表会【東京会場】

場 所：東京都港区 発明会館

プログラム：<http://www.jiwet.or.jp/wp/wp->

[content/uploads/2013/02/dd6f0aeffd31212752b6a98b5ba654c6.pdf](http://www.jiwet.or.jp/wp/wp-content/uploads/2013/02/dd6f0aeffd31212752b6a98b5ba654c6.pdf)

※お申し込みはこちら⇒ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/workshop/workshop->

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

*/**/*

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション（2016.2.5 付 国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局下水道部下水道事業課企画専門官 本田康秀

=====

★★★★★ ラインナップ ☆☆☆☆☆

●下水道管路施設の腐食点検・調査技術に関するアンケート（2/3～22）にご協力を

【国

土交通省国土技術政策総合研究所】

●東京都都市づくり公社・都市づくりフォーラム「多摩地域の水環境を考える 一昔・

今・未来」のお知らせ（2/12 開催）【東京都】

●平成 27 年度 GAIA プロジェクト中間成果報告会～下水道の「変態」について語ろう～の開催について（2/26 開催）【国土交通省】

●下水道資源のエネルギー利用シンポジウム（2/29 開催）【愛知県】

○国土交通省災害・防災情報 (<http://www.mlit.go.jp/saigai/index.html>)

=====

●下水道管路施設の腐食点検・調査技術に関するアンケートにご協力を【国土交通省
国土技術政策総合研究所】

昨年、下水道法が改正され、全ての下水道管路施設を対象に適切な時期に清掃や点検等を行い、異状を把握した際には必要な措置を講ずることとされました。とりわけ管路施設の腐食の恐れの大い箇所については、5 年に 1 回以上での点検義務が付けられました。しかしながら、これらの箇所は硫化水素の発生する過酷な環境下であり、点検・調査の作業環境改善及び作業効率の向上、調査費用の低減等が強く望まれます。

国総研では、腐食の恐れのある箇所に対する点検・調査技術の開発の参考とすべく、腐食箇所における点検・調査技術に対するニーズ、シーズ調査を下記の通り実施いたしますので、ご協力をお願いします。

アンケート調査期間：平成 28 年 2 月 3 日～2 月 22 日

アンケート対象者：下水道経験、業種問わず

アンケート提出方法：F A Xかメール

アンケートは下記 URL で配付中です（国総研下水道研究室ホームページ）

→ <http://www.nilim.go.jp/lab/ebg/index.htm>

●東京都都市づくり公社・都市づくりフォーラム「多摩地域の水環境を考える ー 昔・今・未来ー」のお知らせ【東京都】

公益財団法人東京都都市づくり公社（理事長：中村正彦、本社：東京都八王子市）では、これまでの東京の多摩地域の水環境をふりかえるとともに、現状と今後の課題について考えることをテーマとした「都市づくりフォーラム」を以下のとおり開催します。参加費無料です。ぜひご参加ください。

（名称）平成 27 年度第 3 回都市づくりフォーラム「多摩地域の水環境を考える ー 昔・今・未来ー」

（日時）平成 28 年 2 月 12 日（金）13 時 20 分～16 時 40 分（開場 12 時 45 分）

（会場）ルネこだいら（小平市民文化会館）中ホール（西武新宿線小平駅徒歩 3 分）

（主催）公益財団法人東京都都市づくり公社

（後援）小平市

（内容）

・第 1 部：基調講演「多摩地域の水環境と流域連携」

（講師）東京農業大学地域環境科学部教授 宮林 茂幸氏

・第 2 部：パネルディスカッション「多摩地域の水環境を考える」

（コーディネーター）東京農業大学地域環境科学部教授 宮林茂幸氏

（パネリスト）

府中水辺の楽校運営協議会 大澤邦男氏、

森永乳業株式会社 菅原幸男氏、

小平市環境部下水道課 泉智英氏、

公益財団法人日本下水道協会 阿部千雅氏

（参加費）無料

（申込先）公益財団法人東京都都市づくり公社下水道部

（募集定員になり次第、締め切らせていただきます。）

・詳しくは以下の P D F 資料をご覧ください。

<http://www.toshizukuri.or.jp/documents/20160202press.pdf>

なお、P D F 資料には、申込受付は平成 28 年 2 月 9 日（火）までの旨を記載していますが、それ以降の日も、満席（400 名）になるまで受け付けます。）

●平成 27 年度 GAIA プロジェクト中間成果報告会～下水道の「変態」について語ろう～の開催について（2/26 開催）【国土交通省】

「新下水道ビジョン」で掲げる下水道の役割の「変態」に資する取組みとして、国土交通省では、地域毎に異なる下水道の政策課題の解決を目的に、大学等の研究機関が有する先端的な技術の活用や実用化を促進し、成果の普及を図るため、平成 26 年度より下水道技術研究開発（GAIA プロジェクト）を実施しています。本プロジェク

トで開発中の技術について、広く知っていただくことを目的として、中間成果報告会を開催します。

・日時：2/26(金)13:10~17:40(予定)

・場所：(公財)日本下水道新技術機構(東京都新宿区水道町3-1)

報告会の詳細、事前参加登録(2/19ㄨ切ㄨ先着順)等につきましては、次のメールアドレスまでお問合せください。

→(お問合せ先)国土交通省水管理・国土保全局下水道部流域管理官付 橋本

hashimoto-t92tc@mlit.go.jp

●下水道資源のエネルギー利用シンポジウム(2/29開催)【愛知県】

下水道はバイオマス(生物資源)の宝庫。下水道が再生可能エネルギーや食料の生産拠点へと変わろうとしています。愛知県東三河地域にある3つの下水処理場では、全国に先駆けて新しい下水道の取組が始まっています。この地域で取り組まれている最新成果を共有するところから、下水道資源を活用した持続可能な地域づくりや新たなビジネスチャンスのヒントを見つけませんか。

日時：平成28年2月29日(月)13:00~16:00

場所：穂の国とよはし芸術劇場PLATアートスペース(豊橋駅から徒歩3分)

入場料：無料

申込期限：平成28年2月19日(金)

主催：愛知県、共催：国立大学法人豊橋技術科学大学、豊川流域下水道推進協議会

詳細：こちらのサイトから

→ <http://www.pref.aichi.jp/soshiki/higashimikawa-kensetsu/gesui-sympo.html>

◆し尿下水道で処理へ 変更議案提出、継続審議に /福岡(2/2 毎日新聞)

<http://mainichi.jp/articles/20160202/ddl/k40/010/507000c>

◆えにし訪ね、ぶらり探訪/14 いろは呑龍トンネル 水害備え大小“ドラゴン”

/京都(2/1 毎日新聞)

<http://mainichi.jp/articles/20160201/ddl/k26/040/319000c>

◆緑化に浄化に 雨水利用ビル(2/1 読売新聞)

<http://www.yomiuri.co.jp/eco/feature/C0005563/20160125-0YT8T50004.html>

◆総合治水対策の一環に雨水貯留タンク設置 兵庫県新温泉庁舎(1/31 産経ニュース)

<http://www.sankei.com/region/news/160131/rgn1601310033-n1.html>

◆仙台市の下水道技術トルコへ(1/30 河北新報)

http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201601/20160130_11045.html

◆下水熱を再生利用 原発に頼らない社会へ県など研究(1/30 中日新聞)

<http://www.chunichi.co.jp/article/shiga/20160130/CK2016013002000017.html>

◆環境副大臣 「最大限、財政で支援」(1/30 東京新聞)

<http://www.tokyo->

[np.co.jp/article/ibaraki/list/201601/CK2016013002000153.html](http://www.tokyo-np.co.jp/article/ibaraki/list/201601/CK2016013002000153.html)

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニュースレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20151030/>
